

次世代人材育成事業 ワークショップ運営業務委託に係る質問への回答(6月3日時点)

令和8年6月3日  
新潟市産業振興財団

以下のとおり回答します

No.	質問事項	回答
1	<p>【参加者について】</p> <p>「原則として1社あたり2～3名のチームでの参加を基本とする」と定められているが、提案するプログラム内容としては複数人参加を前提とすることが望ましいか。</p> <p>自社での実装を目標とすると、ある程度決裁権を持つ参加者を想定していると思うが、会社の規模によっては決裁権を持つものが複数人在籍しない場合もある。その場合は、決裁権を持つ者のみの出席でもよいのか。それとも現場を知る若手と一緒に複数人での参加が望ましいのか。</p> <p>&lt;資料2 業務委託仕様書 6 参加ターゲット・参加方法&gt;</p>	<p>複数人数の参加を前提としているが、決裁権の有無に関わらず、個人での学びを希望する方やお一人での参加を希望する方もいるものと想定しているため、そうした方たちも参加可能なプログラム内容としてください。</p> <p>本事業の特性上、必ずしも決裁権者の参加を想定しているものではなく、各企業(団体)から複数名参加していただくことにより、人材育成と自社への実装という目標を達成したいと考えています。</p> <p>また、参加者の構成についても、決裁権者や実際に作業する方などに限定する者でなく、各社(団体)の状況や考え方で構わないと考えています。</p>
2	<p>【最終目標の参加企業数について】</p> <p>成果指標の「本事業によりデータを基に意思決定ができ、実際に自社に持ち帰って実装・自走できる状態の参加企業数」の目標数値「5社以上」と定められているが、この際の5者はプログラム内で何らかの方法で選抜することを想定しているか。</p> <p>&lt;資料2 業務委託仕様書 7 成果指標&gt;</p>	<p>選抜することは想定していません。</p> <p>可能であれば、参加した企業(団体)の全員が左記の成果を達成することが望ましいですが、参加企業(団体)の事情により実装する段階までは難しいケースや最後まで参加することが難しくなるケースなどもあることから、最低水準の目標として、「5社以上」と設定しています。</p>
3	<p>【最終目標の参加企業数について】</p> <p>成果指標の「本事業によりデータを基に意思決定ができ、実際に自社に持ち帰って実装・自走できる状態の参加企業数」の「実装・自走できる状態」とはどういった状態を想定しているか。</p> <p>&lt;資料2 業務委託仕様書 7 成果指標&gt;</p>	<p>伴走支援で目標としている実装・自走できる状態とは、ワークショップを通じて一般的なAIの使い方を習得することではなく、「5業務内容」にある参加者がデータ分析による意思決定の行程において、AIツールを適切に取り扱い、<u>自社の状況に応じた効果的な判断</u>ができるようになっている状態を指しています。本事業では、そうした自社での意思決定にAIの効果的な活用を検討できる人材を育成することを目標としています。</p>

4	<p>【プレゼンテーション審査について】</p> <p>「③ プレゼンテーション審査の出席者は統括責任者を含め最大 3 名までとする。」となっているが、そのうち、1 名をオンライン参加とすることも可能でしょうか。</p> <p>&lt;資料1公募型プロポーザル実施要領 8(2)選定方法&gt;</p>	<p>プレゼンテーション審査につきまして、オンライン参加も可能ですが、必ず1名以上は会場にてご参加いただき、提案内容の説明や審査員の質問に対して回答できるようにしてください。なお、オンライン参加の場合の機器や通信環境など、必要な準備については、参加者の責任において実施していただきます。</p> <p>選定委員会当日の詳細(日時・会場など)につきましては、参加表明の締め切り後、事務局よりご案内予定です。</p>
5	<p>【参加ターゲットについて】</p> <p>「事業背景、目的」において、「本事業ではこれらを踏まえ、本事業では、新潟経済の次世代ビジネスリーダー(起業関心者、社内起業者、会社後継者、若手経営者・マネージャー層、スタートアップを志す人など)を対象」「本事業は「次世代リーダーの育成」に重点を置く」と記載があり、「6参加ターゲット・参加方法」においても「若手経営者やマネージャー層、ビジネスパーソンに加え、起業関心者やスタートアップ思考の人材等」を対象とする」とあります。</p> <p>こちらの記載より、ターゲット層は経営者や後継者など一人の個人であることが多いものと推量します。</p> <p>一方で、「6参加ターゲット・参加方法」において、「学習内容の実務への定着を図る観点から、原則として1社あたり2~3名のチームでの参加を基本とする(個人での参加も可とする)」との記載があり、会社単位複数人であることが想定されております。</p> <p>この場合、会社単位複数人の想定は、経営者を筆頭とする幹部層やマネージャー層での2~3名チームというイメージになりますでしょうか。もしくは、マネージャー層複数名またはマネージャー層を中心とした一般従業員のイメージになりますでしょうか。</p> <p>また、この点の認識について、前者(経営者や起業関心者など個人単位のターゲット)と後者(会社単位複数社)の場合、どちらかに重点をおく意図はあるでしょうか。</p> <p>&lt;資料2 業務委託仕様書 6 参加ターゲット・参加方法&gt;</p>	<p>事業目的にありますとおり、本事業は、「新潟経済の次世代ビジネスリーダー(起業関心者、社内起業者、会社後継者、若手経営者・マネージャー層、スタートアップを志す人など)を対象」に、個人のスキルアップにつながるワークショップを中心に実施してまいりました。</p> <p>そうした中で、個人参加の場合、ワークショップで得たスキルを自社に持ち帰った際に、通常の業務になかなか生かせないといった課題がありました。</p> <p>以上のことから、今年度は、各企業(団体)から複数名で参加していただくことにより、ワークショップ終了後の社内・組織への波及効果をより高め、人材育成に加え、自社への実装という目標も達成したいと考えています。</p> <p>ただ、起業関心者など、個人単位で参加を希望する方も想定されることから、こうした場合でも参加可能なプログラムの内容としてください。</p> <p>参加者の構成については、決裁権者や実際に作業する方などに限定するものでなく、各社(団体)の状況や考え方で構わないと考えています。</p>

6	<p>【参加チーム数について】</p> <p>「参加チーム数の目安は 17～20 チーム程度とする。」との記載について、人数想定 の理由、下限を 17 とする意図、特別な事由はありますでしょうか(これまでの過去の参加者数の規模に準じた設定という認識でよろしいでしょうか)。</p> <p>&lt;資料2 業務委託仕様書 6 参加ターゲット・参加方法&gt;</p>	<p>過去の参加者数の規模に準じているという部分はありますが、ワークショップでの学びを深める上での適性な規模であることと、事業目的の一つであるネットワークづくりに向けての概ねの目安として設定しています。</p>
7	<p>【成果指標について】</p> <p>成果指標として記載のある以下内容について、仕様上の対応する項目について質問です。</p> <p>①特別講師による基調講演を踏まえ、今後のプログラム内容について理解できた参加者の数:40 名以上</p> <p>②本事業により AI ツールの利用にあたっての注意事項、データ活用の目的が理解できた参加者の数:20 名以上</p> <p>③本事業により AI を用いた効果的なデータ分析の方法について理解し、ケーススタディにおいて実践できた参加者の数:20 名以上</p> <p>④本事業により AI を用いた効果的なデータ分析の方法について理解し、自社の課題抽出に活用できた参加者の数:20 名以上</p> <p>⑤本事業によりデータを基に意思決定ができ、実際に自社に持ち帰って実装・自走できる状態の参加企業数 5 者以上</p> <p>ア. ①は第1段階について対応するものでしょうか。</p> <p>イ. ②③④は第2段階について対応するものでしょうか</p> <p>ウ. ⑤は第3段階について対応するものでしょうか。</p> <p>エ. ①②③④について、「参加者の数:●名以上」となっておりますが、参加をチームごととした場合にも、あくまで参加者1人ずつのカウントになりますでしょうか。</p> <p>&lt;資料2 業務委託仕様書 6 成果指標&gt;</p>	<p>ご質問いただきました「ア」～「ウ」については、お見込のとおりです。</p> <p>「エ」につきましては、カウントはあくまで人数でさせていただきます。ただ、事業実施後の事業成果を評価する際には、「●社〇名」といったような形で、総合的にまとめていくことを考えています。</p>

